

# Small Pedalboard System

## DUAL VITALIZED ROUTING INTERFACE DVI-1M

### 取扱説明書

このたびはPROVIDENCE製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を末永くご使用頂くためにも、必ずこの取扱説明書をご一読下さい。

#### ■主な特長

2x(デュアル)バイタライザー、シグナル・ジャンクションボックス(パラ・ボックス)、ミュートボックス(外部スイッチコントロール)を集結。今までペダルシステムを構築するときに分散していた機能を使いやすくコンパクトにまとめた、ペダルシステムの入出カインターフェイス・アイテムです。

#### ●デュアル バイタライザー搭載

信号の音質変化を極力抑えローインピーダンス化し、ペダルシステムや長いケーブルなどでの音質の変化や劣化を防ぎ、信号を安定させます。

IN入力後とRETURN入力後の2系統のラインにそれぞれバイタライザーを備え、あらゆるルーティングセットでバイタライザーを機能させることができます。

#### ●ジャンクション・ボックス

各入出力ジャックがペダルシステム(ボード)の入出力として効率よく配線ができるようにレイアウトされています。

#### ●TUNERアウト(3パラボックスとしても使用可能)

通常はチューナーを接続しますが、内部のスイッチを切り替えれば、3パラ・ボックスとしても機能します。

#### ●ミュート・ボックス

外部フットスイッチ(ラッチタイプ)で音声信号をミュートすることができます。SEND/RETURNを使用しペダルシステムを組んだ場合は、ペダルシステムの最後でミュートをかけることができ、これはペダルシステム内で発生したノイズや不要な残響音などを演奏していないときにシャットアウトすることができます。

#### ●ポップノイズリダクション・サーキット

ミュート回路に音質変化の無いリレー接点回路を採用しています。更にミュートスイッチ切り替え時のポップノイズを低減する回路を搭載しました。接続したエフェクターや外部の電氣的な影響を受けない設計で、安定したローノイズ環境を提供します。

#### ●THRUジャック

このTHRUジャックはステレオフォン(TRS)構造で2系統の信号ライン(チップとリング)とグランドライン(スリーブ)は電氣的に完全に独立しています。ペダルシステム(ボード)から、アンプのチャンネルコントロールパッチや外部機器との2系統の信号接続など、多目的に使用可能です。この信号ラインはミュート動作しません。

#### ●ワイド ボルテージ DCインプット

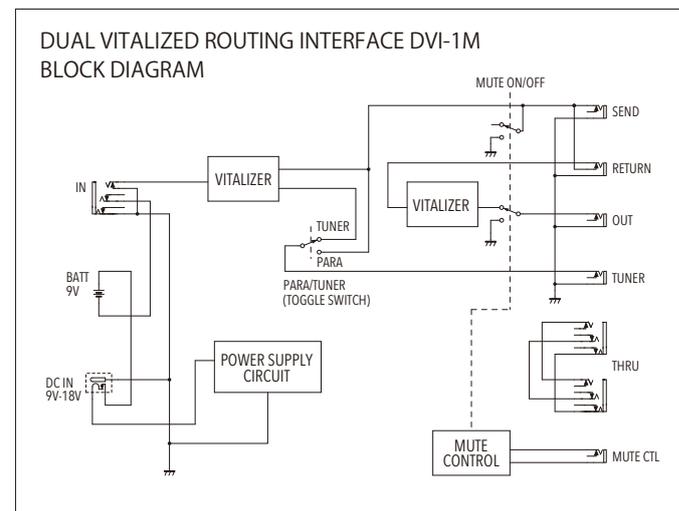
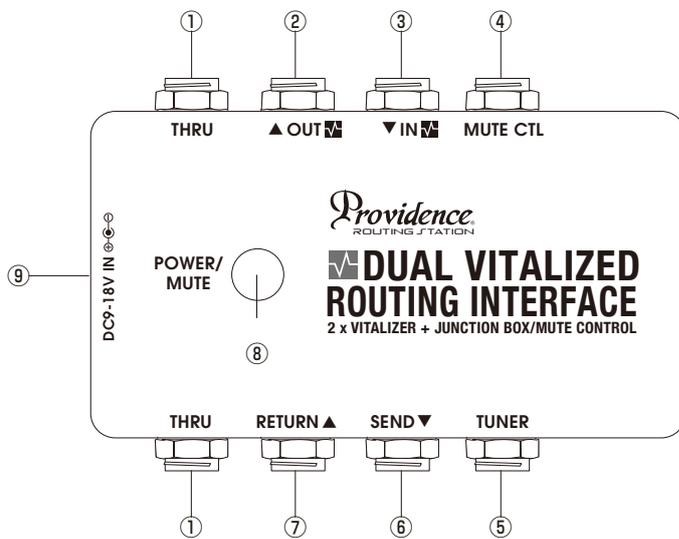
入力DC電源電圧は+9V~+18Vまでの様々な電圧の各社楽器用ACアダプターが幅広く使用可能。006P電池(内部収納)でも動作します。

#### ■各部の名称と機能

- ①THRU: TRS構造で2系統の信号とグランドラインが完全独立で、THRUジャック同士が直結されています。
- ②OUT : アンプなどに接続します。後段のバイタライザーを通して信号が出力されます。本機のミュート回路はこの出力ジャックの直前で機能し、SEND・リターン・ジャックの間につないだエフェクター接続の最後で音をミュートします。ステージ上でチューニング時の音や接続したエフェクターのノイズなども一括してミュートすることができます。
- ③IN : 入力ジャックです。ギターやベース等の楽器を接続します。前段のバイタライザーを通ります。
- ④MUTE CTL: 外部ラッチタイプ・フットスイッチあるいは外部機器のラッチコントロール端子でミュート機能をコントロールします。1/4モノフォーンケーブルで接続します。
- ⑤TUNER: チューナー用とパラ出力の2通りの出力機能を持っています。裏フタを外しスライドスイッチでTUNER/PARA機能を切り替えます。工場出荷時はTUNER側に設定されています。TUNER側では外部チューナーを接続します。ミュート機能にかかわらず常に信号を出力します。PARA側ではアンプやミキサーなど3つ目のパラ出力として使用できます。ミュート機能が連動します。信号はINから前段のバイタライザーを通った後に分岐します。
- ⑥SEND: センド・ジャックです。エフェクト・ループ接続でこのジャックから他のエフェクターに接続します。パラ出力の一つとしても使用できます。ミュート機能が連動します。
- ⑦RETURN: リターン・ジャックです。SEND・ジャックからエフェクターを接続経由した信号をこのジャックに戻します。また、この端子を入力として使えば、IN→SENDとRETURN→OUTで2系統の信号ラインを構築でき、それぞれでバイタライザーとミュート機能を使うことができます。この場合グランドラインは共通となります。
- ⑧POWER/MUTE(LED): 電源ON時はブルー点灯し、MUTE時にはレッド点滅で動作を認識できます。
- ⑨DC9-18V IN: ACアダプターを接続します。入力DC電源電圧は+9V~18V(センターチップ・マイナス、電圧レギュレート・タイプ)。

#### ■仕様

- バイタライザー x2
- 入出力: IN, OUT, SEND, RETURN, TUNER, DC IN, MUTE CTL, THRU-THRU (TRS)
- 消費電流: 10mA(ミュートOFF時)/21mA(ミュートON時最大)
- コントロール
- TUNER出力: 常時出力/MUTE CTL連動の動作切り替え(内部スライド・スイッチ)
- MUTE: 外部フット・スイッチ(ラッチタイプ)
- 電源: 9V/バッテリーおよびDC9~18V 安定化タイプ ACアダプター(各別売)
- サイズ: 115(D) × 78(W) × 36(H)mm
- 重量: 約200g(電池含まず)

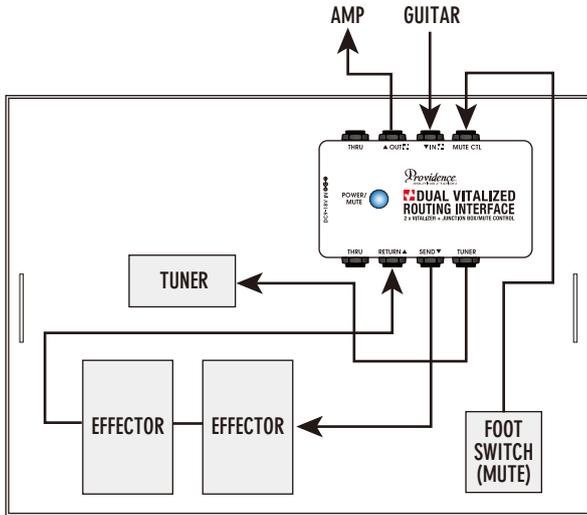


# Small Pedalboard System DUAL VITALIZED ROUTING INTERFACE DVI-1M

## 接続例(基本編)

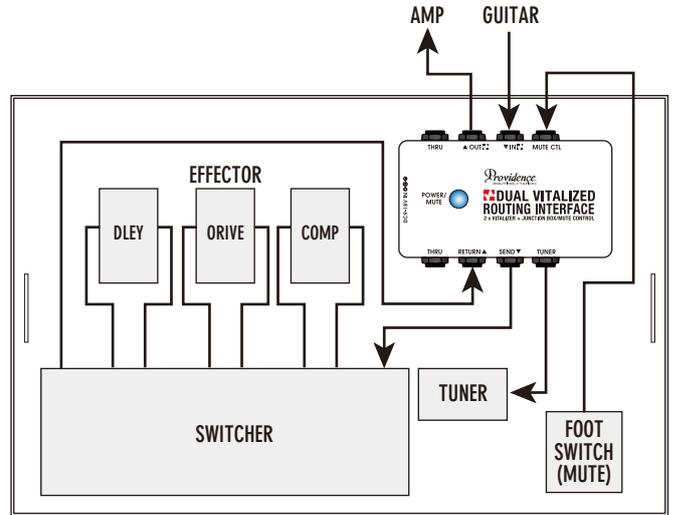
### ■接続パターンA (ジャンクションボックス)

エフェクターを数個つなげて使用。外部フットスイッチでMUTEする場合



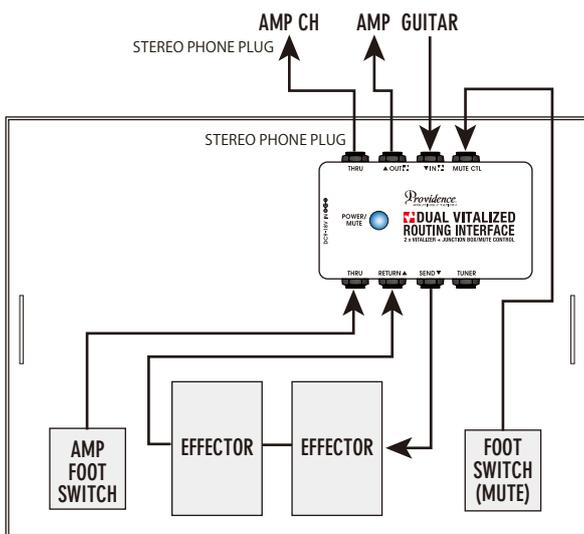
### ■接続パターンB (ジャンクションボックス)

スイッチャーを使用して複数のエフェクターのON/OFFをコントロールする場合



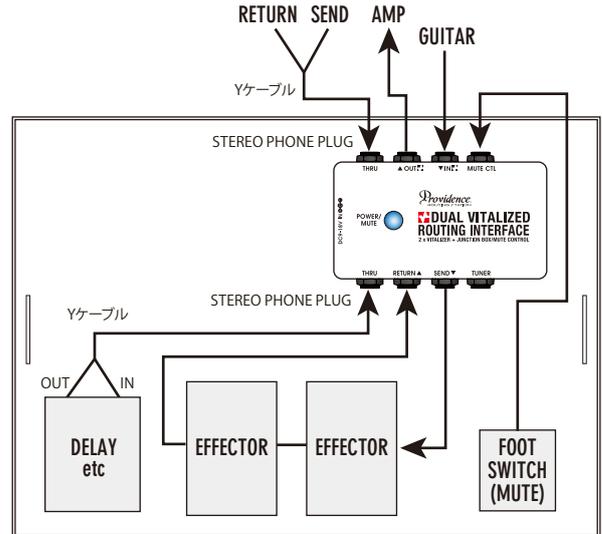
## 接続例(応用編-1)

### ■AMPのチャンネル切替をする場合



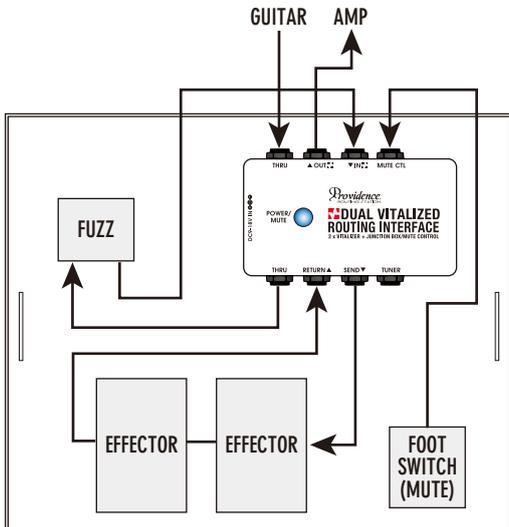
※アンプにより接続方法が異なりますので、ご確認ください。

### ■AMPのSEND/RETURNを使用する場合

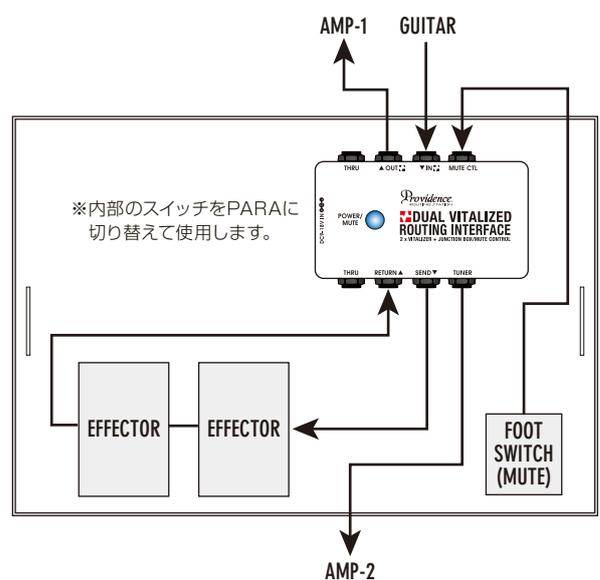


※YケーブルはProvidence R303の3PH-PH/PHをご使用ください。

### ■FUZZを使用する場合

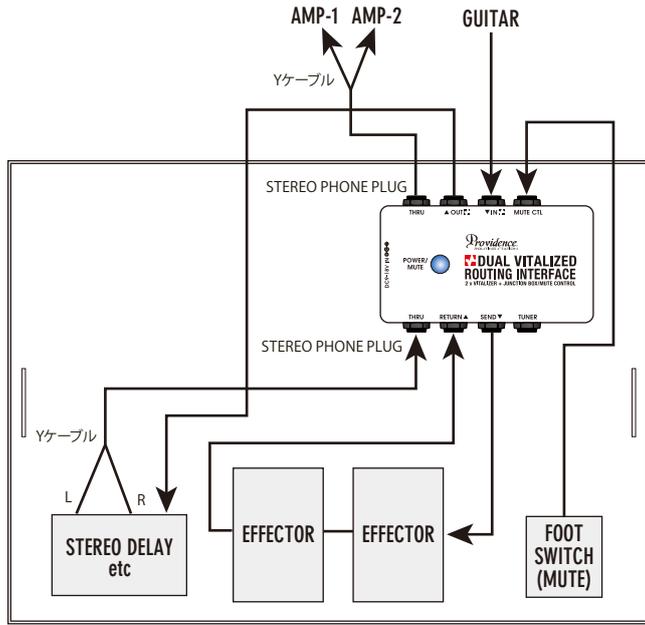


### ■AMPを2台使用する場合 (2パラアウト)



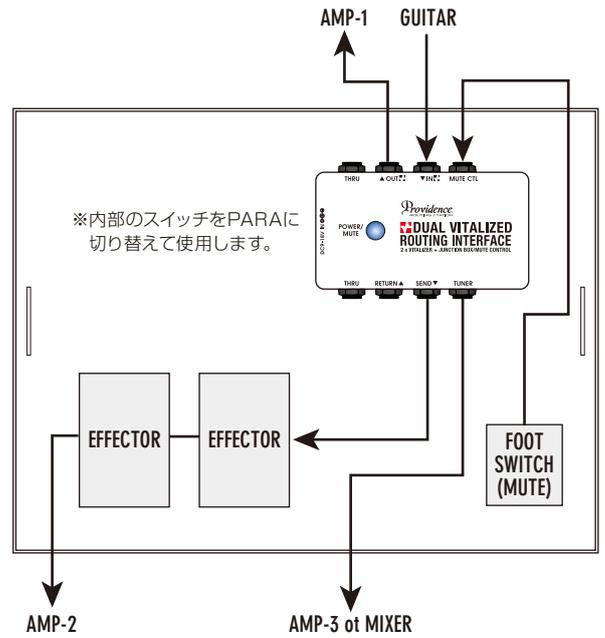
## 接続例(応用編-2)

### ■AMP2台をステレオで使用する場合



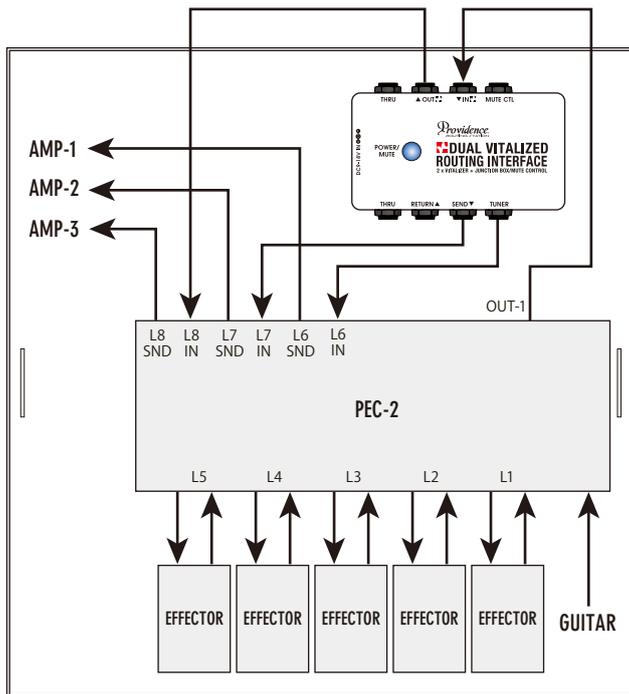
※YケーブルはProvidence R303の3PH-PH/PHをご使用ください。

### ■AMP3台、または1つをPAに送る場合(3パラアウト)



## 接続例(応用編-3)

### ■PEC-2のセパレートループ (L6~L8) を使って AMP3台をコントロールする場合



### ■PEC-4Vのセパレートループ(L4)を使って AMP2台(歪系とクリーン系)をコントロールする場合

